

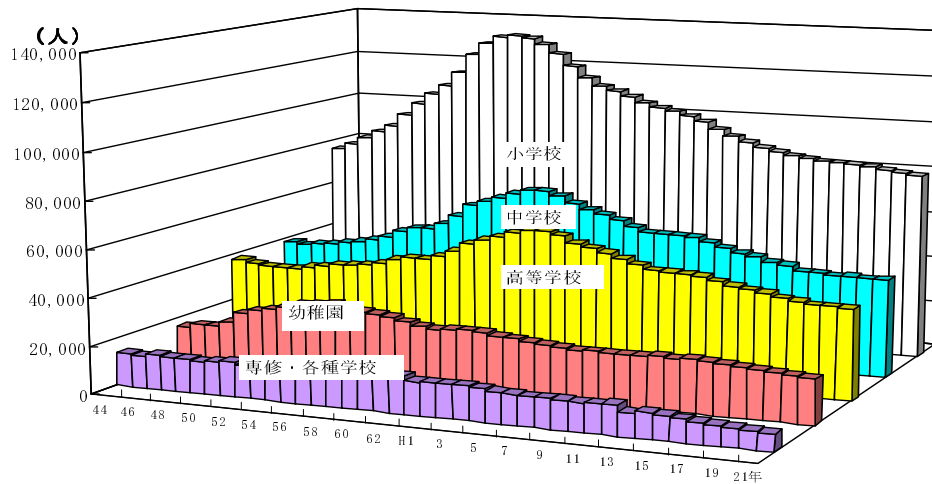
# I. 結果の概要

この概要は、平成21年5月1日現在で実施された学校基本調査のうち、奈良県内の学校（文部科学省が直接調査する大学、短期大学、高等専門学校を除く）について、学校教育に関する基本的事項である学校数、在学者数、教職員数、卒業者数を取りまとめたものである。

## [1] 学校調査

幼稚園、小学校、高等学校で、在園者・児童生徒数の減少が続いている。(図1)

図1. 在園者・児童生徒数の推移



### 1. 幼稚園

- ・園数は203園（国立2園、公立160園、私立41園）で、前年度より公立2園が減少した。
- ・在園者数は、18,636人（男9,507人、女9,129人）で、前年度より669人（3.5%）減少した。年齢別に見ると、3歳児は4,167人（構成比22.4%）で32人減少、4歳児は7,028人（同37.7%）で274人減少、5歳児は7,441人（同39.9%）で363人減少となった。(図2)
- ・在園者数は年々減少傾向にあるが、3歳児のみ横ばいで推移している。10年前（平成11年度）では全在園者に占める3歳児の比率は13.2%であったが、本年度は22.4%まで増加した。(図2)
- ・在園者数を設置者別にみると、国立298人（構成比1.6%）で1人増加、公立12,241人（同65.7%）で469人減少、私立6,097人（同32.7%）で201人減少した。また、10年前と比較すると国立・私立は3歳児の比率はあまり変わっていないが、公立ではその比率が大きく増加した（5.4%→18.7%）(表1) (図3)
- ・教員数（本務者）は1,467人（男45人、女1,422人）で、前年度より11人減少した。教員のうち、女性教員の占める割合は96.9%で、前年度より0.3ポイント減少した。教員1人あたりの園児数は12.7人（全国値14.7人）で、前年度より0.4人減少した。
- ・新規入園者数は7,402人（男3,743人、女3,659人）で、前年度より278人減少した。入園者数を年齢別に見ると、3歳児は4,068人、4歳児は3,041人、5歳児は293人であった。(表2)
- ・小学校第1学年児童のうち幼稚園修了者の占める比率は61.6%（全国56.4%）であり、年々減少傾向にある。(図4)

図2. 年齢別幼稚園在園者数の推移

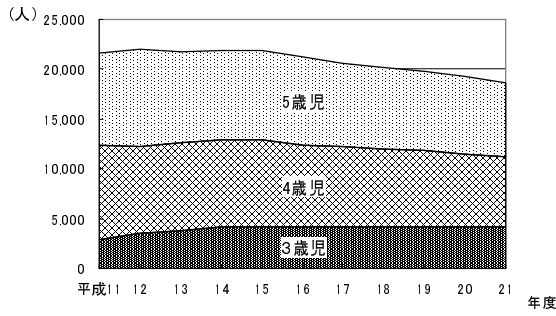


図3. 設置者別在園者数年齢構成

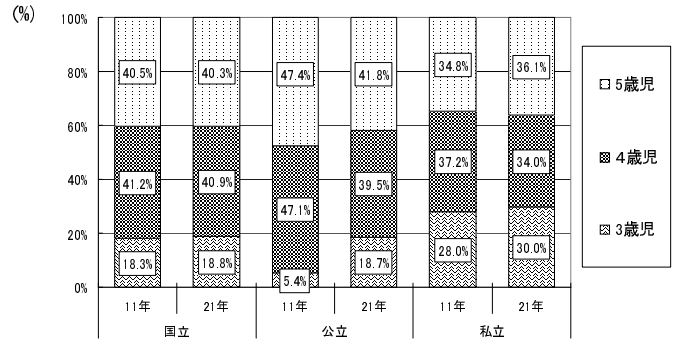


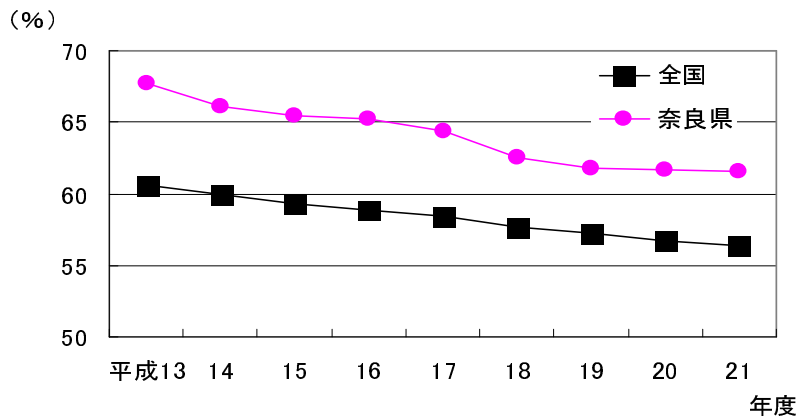
表1. 設置者別在園者数

区分	在園者数								
	計 (人)	男 (人)	女 (人)	国立		公立		私立	
				(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)
平成11年度	21,661	10,957	10,704	306	(1.4)	14,068	(64.9)	7,287	(33.7)
平成16年度	21,241	10,776	10,465	292	(1.4)	14,353	(67.6)	6,596	(31.1)
平成17年度	20,606	10,476	10,130	301	(1.5)	13,892	(67.4)	6,413	(31.1)
平成18年度	20,158	10,318	9,840	303	(1.5)	13,488	(66.9)	6,367	(31.6)
平成19年度	19,792	10,108	9,684	302	(1.5)	13,090	(66.1)	6,400	(32.3)
平成20年度	19,305	9,878	9,427	297	(1.5)	12,710	(65.8)	6,298	(32.6)
平成21年度	18,636	9,507	9,129	298	(1.6)	12,241	(65.7)	6,097	(32.7)

表2. 入園年齢別在園者数

区分	新規 入園者数	3歳児			4歳児			5歳児			
		計	前年度 入園	本年度 入園	計	3歳児 入園	4歳児 入園	計	3歳児 入園	4歳児 入園	5歳児 入園
平成11年度	9,835	2,859	—	2,859	9,471	2,843	6,628	9,333	2,574	6,411	348
平成16年度	8,725	4,196	68	4,128	8,237	3,890	4,347	8,808	3,740	4,818	250
平成17年度	8,462	4,220	95	4,125	8,004	3,962	4,042	8,382	3,714	4,373	295
平成18年度	8,166	4,186	90	4,096	7,851	4,053	3,798	8,121	3,834	4,015	272
平成19年度	7,939	4,161	127	4,034	7,649	4,023	3,626	7,982	3,944	3,759	279
平成20年度	7,680	4,199	104	4,095	7,302	3,985	3,317	7,804	3,928	3,608	268
平成21年度	7,402	4,167	99	4,068	7,028	3,987	3,041	7,441	3,881	3,267	293

図4. 小学校第1学年児童のうち幼稚園修了者の比率



## 2. 小学校 —昭和57年度の133,167人をピークに減少つづく—

- ・学校数は223校（国立2校、公立216校、私立5校）で、前年度より公立1校が減少した。
- ・学級数は3,416学級（単式学級2,798学級、複式学級23学級、特別支援学級595学級）で、前年度より1学級減少した。種別では、単式が6学級、複式が2学級減少したのに対し、特別支援学級が7学級増加した。
- ・児童数は79,588人（男40,743人、女38,845人）で、前年度より963人（1.2%）減少した。
- ・平成20年度間の帰国児童は62人で、平成19年度間より3人減少した。
- ・外国人児童数は193人で、前年度より9人減少した。  
全児童のうち、外国人児童の占める割合は0.2%で、前年度に比べて0.1ポイント減少した。
- ・教員数（本務者）は4,928人（男1,870人、女3,058人）で、前年度より1人増加した。  
教員のうち、女性教員の占める割合は62.1%で、前年度より0.7ポイント低下した。  
教員1人あたりの児童数は16.2人（全国値16.8人）で、前年度より0.1人減少し、年々減少傾向にある。  
（図5）
- ・長期欠席児童（平成20年度中に30日以上欠席した児童）数は778人で、前年度間より97人減少した。  
理由別では、病気340人（構成比43.7%）、不登校316人（同40.6%）であった。全児童に占める不登校の割合は0.40%で、平成19年度間より0.04ポイント減少したが、全国平均（0.32%）よりは高い数値である。  
（表3・表4・図6・図7）

表3. 理由別長期欠席児童数

区 分	理由別長期欠席児童数（30日以上）								
	計 (人)	病気(構成比)		経済的理由(構成比)		不登校(構成比)		その他(構成比)	
		(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)
平成10年度間	1,092	606	(55.5)	2	(0.2)	392	(35.9)	92	(8.4)
平成15年度間	908	451	(49.7)	0	(0.0)	345	(38.0)	112	(12.3)
平成16年度間	919	429	(46.7)	2	(0.2)	378	(41.1)	110	(12.0)
平成17年度間	872	410	(47.0)	0	(0.0)	348	(39.9)	114	(13.1)
平成18年度間	882	356	(40.4)	1	(0.1)	351	(39.8)	174	(19.7)
平成19年度間	875	379	(43.3)	0	(0.0)	355	(40.6)	141	(16.1)
平成20年度間	778	340	(43.7)	1	(0.1)	316	(40.6)	121	(15.6)

表4. 児童数に占める「不登校」の比率

区 分	30日以上	
	奈良県 (%)	全 国 (%)
平成15年度間	0.41	0.33
平成16年度間	0.45	0.32
平成17年度間	0.42	0.32
平成18年度間	0.43	0.33
平成19年度間	0.44	0.34
平成20年度間	0.40	0.32

各年度間の不登校者数  
各年5月1日現在児童数 × 100

図5. 本務教員1人当たりの児童数

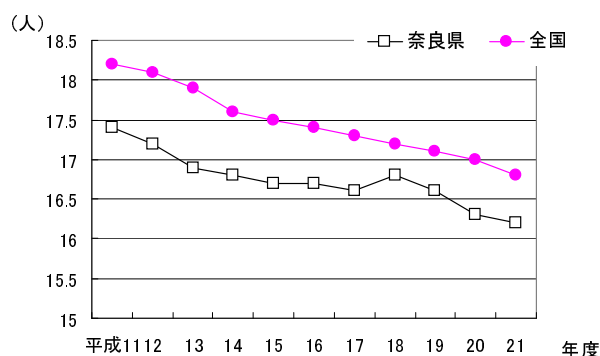


図6. 長期欠席児童数の推移（年間30日以上）

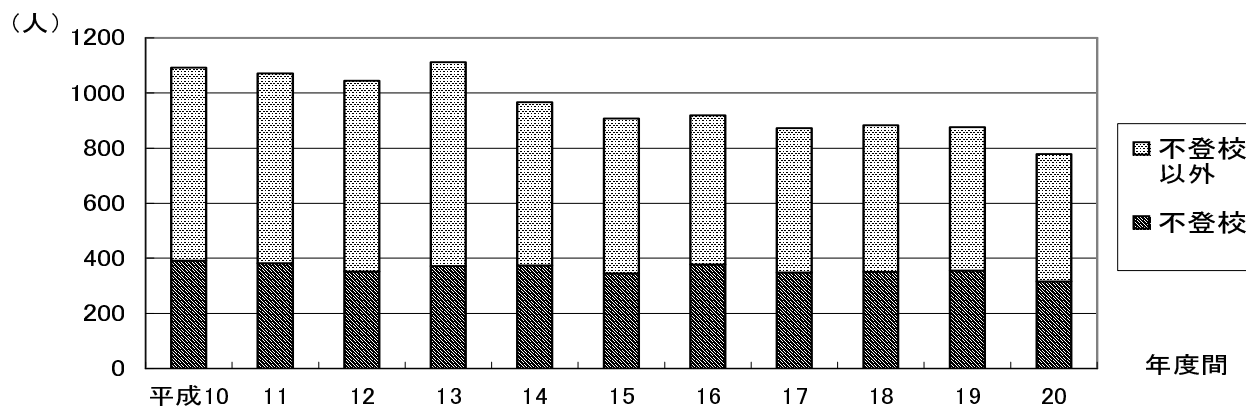
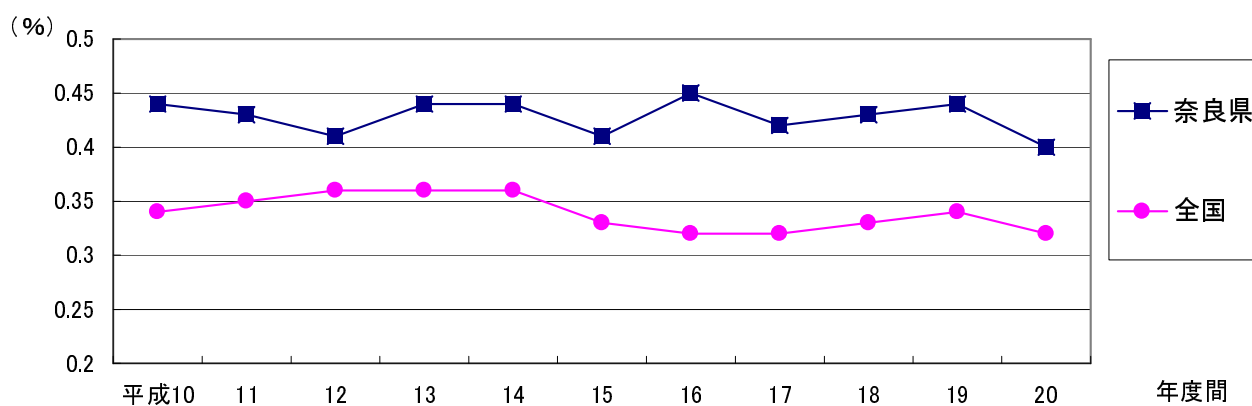


図7. 児童数に占める「不登校」の比率の推移（奈良と全国の比較）



### 3. 中学校

- ・学校数は119校（国立1校、公立107校、私立11校）で、前年度と変わらなかった。
- ・学級数は1,504学級（単式学級1,260学級、特別支援学級244学級）で、前年度より18学級増加した。（単式学級が5学級増、特別支援学級が13学級増）
- ・生徒数は41,878人（男21,627人、女20,251人）で、前年度より1人減少した。
- ・平成20年度間の帰国生徒は16人で、平成19年度間より6人減少した。
- ・外国人生徒数は292人で、前年度より19人減少した。  
全生徒のうち、外国人生徒の占める割合は0.7%で、前年度と変わらなかった。
- ・教員数（本務者）は3,023人（男1,844人、女1,179人）で、前年度より18人増加した。  
教員のうち、女性教員の占める割合は39.0%で、前年度より0.1ポイント上昇した。  
教員1人あたりの生徒数は13.9人（全国値14.4人）で、前年度と変わらなかった。（図8）
- ・長期欠席生徒（平成20年度中に30日以上欠席した生徒）数は1,772人で、前年度間より137人減少した。  
理由別では、病気211人（構成比11.9%）、不登校1,367人（同77.1%）、であった。全生徒に占める不登校の割合は3.26%で、平成19年度間より0.11ポイント増加し、全国平均（2.89%）よりも高い数値となっている。（表5・表6・図9・図10）

表5. 理由別長期欠席生徒数

区分	理由別長期欠席生徒数 (30日以上)								
	計 (人)	病気(構成比)		経済的理由(構成比)		不登校(構成比)		その他(構成比)	
		(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)
平成11年度間	2,043	433	(21.2)	8	(0.4)	1,335	(65.3)	267	(13.1)
平成15年度間	1,919	269	(14.0)	3	(0.2)	1,371	(71.4)	276	(14.4)
平成16年度間	1,844	230	(12.5)	6	(0.3)	1,260	(68.3)	348	(18.9)
平成17年度間	1,896	234	(12.3)	5	(0.3)	1,278	(67.4)	379	(20.0)
平成18年度間	1,900	277	(14.6)	2	(0.1)	1,271	(66.9)	350	(18.4)
平成19年度間	1,909	231	(12.1)	1	(0.1)	1,328	(69.6)	349	(18.3)
平成20年度間	1,772	211	(11.9)	1	(0.1)	1,367	(77.1)	193	(10.9)

表6. 生徒数に占める「不登校」の比率

区分	30日以上	
	奈良県 (%)	全国 (%)
平成15年度間	3.10	2.72
平成16年度間	2.94	2.73
平成17年度間	3.00	2.76
平成18年度間	3.03	2.85
平成19年度間	3.15	2.91
平成20年度間	3.26	2.89

$$\frac{\text{各年度間の不登校者数}}{\text{各年5月1日現在生徒数}} \times 100$$

図8. 本務教員1人当たりの生徒数(中学校)

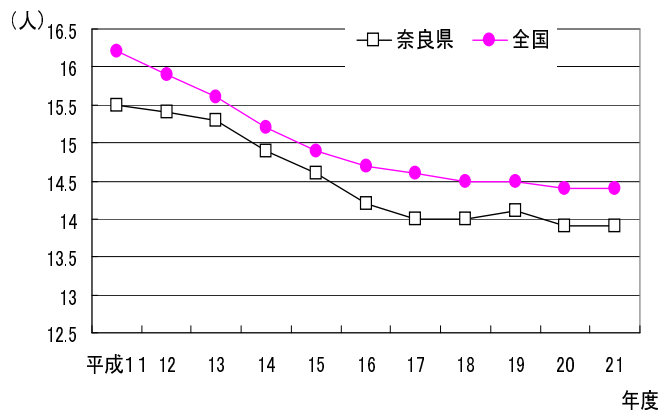


図9. 長期欠席生徒数の推移(年間30日以上)

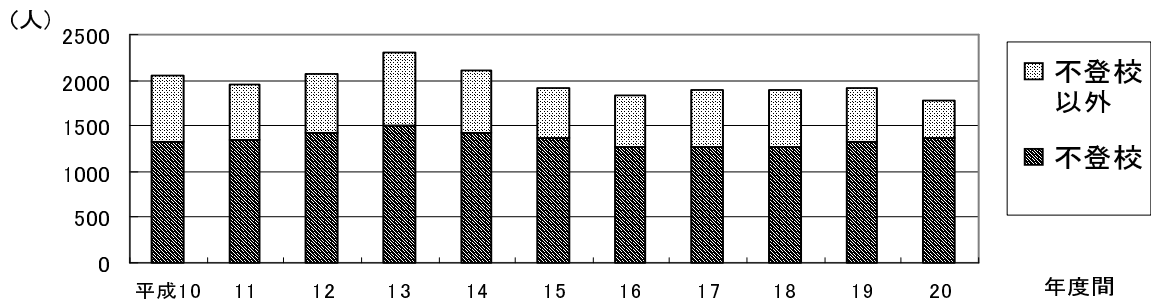
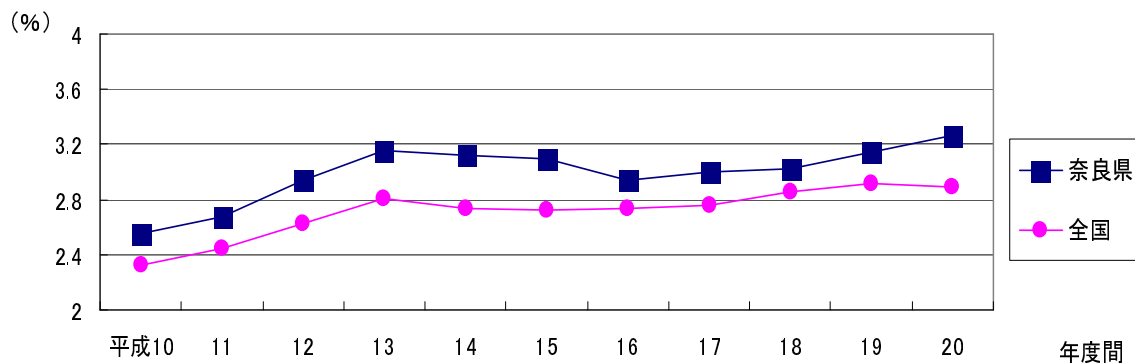


図10. 生徒数に占める「不登校」の比率



## 4. 高等学校

### A. 全日制課程・定時制課程

- 学校数は53校（公立37校、私立16校）で、前年度より公立4校が減少し、私立1校が増加した。  
課程別では、全日制課程のみを置く学校が44校、定時制課程のみを置く学校が3校、全日制・定時制の両課程を併設している学校が6校であった。
- 学科数は72学科で、前年度より5学科減少した。  
分野別では、普通科41学科、農業科5学科、工業科4学科、商業科4学科、家庭科3学科、看護科1学科、情報科1学科、福祉科2学科、総合学科1学科、その他の学科10学科であった。
- 生徒数は38,016人（男19,397人、女18,619人）で、前年度より221人減少した。  
課程別生徒数は、全日制36,642人、定時制1,374人であった。全日制課程の生徒の占める割合は96.4%であり、前年度より0.2ポイント低下した。10年前（平成11年度）との比較では、全日制生徒数は19.8%減少したが、逆に定時制生徒数は14.8%増加した。（表7）
- 学科別生徒数は、普通科29,502人、農業科640人、工業科1,801人、商業科1,819人、家庭科390人、看護科285人、情報科115人、福祉科176人、総合学科235人、その他の学科3,053人であった。（表8）
- 平成20年度間の帰国生徒は20人で、平成19年度間より7人増加した。
- 外国人生徒数は86人で、前年度より23人減少した。  
全生徒のうち、外国人生徒の占める割合は0.2%で、前年度より0.1ポイント減少した。
- 教員数（本務者）は2,654人（男1,887人、女767人）で、前年度より7人増加した。  
教員のうち、女性教員の占める割合は28.9%で、前年度より0.8ポイント上昇した。  
教員1人あたりの生徒数は14.3人（全国値14.0人）で、前年度より0.1ポイント減少した。（図11）
- 入学者定員は13,473人で、前年度より172人減少した。  
入学志願者は25,191人で、前年度より294人減少した。  
入学者は12,861人で、前年度より205人減少した。（表9）

表7. 課程別生徒数

区分	全日制		定時制	
	(人)	(%)	(人)	(%)
平成11年度	45,692	(97.4)	1,197	(2.6)
平成16年度	40,448	(97.1)	1,206	(2.9)
平成17年度	38,806	(96.9)	1,256	(3.1)
平成18年度	37,812	(96.9)	1,220	(3.1)
平成19年度	36,942	(96.9)	1,195	(3.1)
平成20年度	36,948	(96.6)	1,289	(3.4)
平成21年度	36,642	(96.4)	1,374	(3.6)

図11. 本務教員1人当たりの生徒数（高等学校）

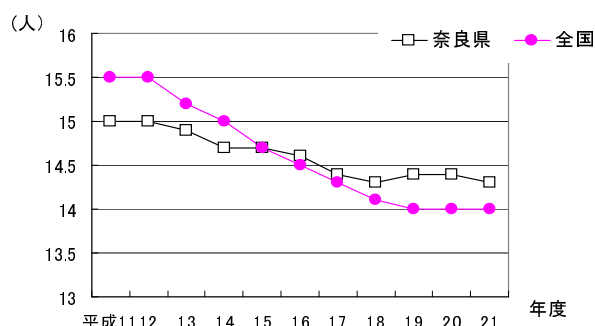


表8. 学科別生徒数

区分	「全日制+定時制」学科別生徒数(人)										合計	
	普通科	農業科	工業科	商業科	家庭科	看護科	情報科	福祉科	総合学科	その他		
平成11年度	38,231	754	2,464	2,505	767	361	-	-	306	1,501	46,889	
平成16年度	33,580	775	2,297	2,109	509	260	117	245	324	1,438	41,654	
平成17年度	31,603	781	2,179	2,120	499	257	40	251	325	2,007	40,062	
平成18年度	30,180	793	2,073	2,050	462	231	81	251	305	2,606	39,032	
平成19年度	29,110	757	1,933	1,924	452	216	120	245	295	3,085	38,137	
平成20年度	29,503	697	1,754	1,867	420	303	116	210	234	3,133	38,237	
平成21年度	計	29,502	640	1,801	1,819	390	285	115	176	235	3,053	38,016
	男	14,959	377	1,673	661	27	0	86	30	128	1,456	19,397
	女	14,543	263	128	1,158	363	285	29	146	107	1,597	18,619

※ 「その他」には、外国語、音楽・美術、体育関係などが含まれる。

※ 「情報科」、「福祉科」は、平成15年度調査から設定された。

表9. 入学状況

区分	入 学 員		入 学 志 願 者		入 学 者					
	うち 全日制	うち 全日制	うち 全日制	うち 全日制	総 数		うち全日制			
					うち県外所在 中学校卒業生	うち過年度 中学校卒業生	うち県外所在 中学校卒業生	うち過年度 中学校卒業生		
平成11年度	16,896	16,312	31,299	30,781	16,044	1,383	109	15,682	1,180	58
平成16年度	14,821	14,343	27,100	26,560	13,942	1,156	81	13,545	1,024	49
平成17年度	14,004	13,526	24,848	24,308	13,004	1,033	47	12,606	881	30
平成18年度	13,631	13,190	27,391	26,949	13,075	975	65	12,738	838	32
平成19年度	13,532	13,091	25,887	25,421	12,984	1,036	55	12,630	896	23
平成20年度	13,645	13,059	25,485	24,845	13,066	1,010	101	12,617	882	16
平成21年度	13,473	12,923	25,191	24,606	12,861	946	99	12,400	816	30

## B. 通信制課程

- 学校数は公立1校（併置）と私立1校（独立）で、前年度より私立1校が増加した。
- 生徒数808人（男359人、女449人）で、前年度より168人増加した。
- 教員数（本務者）は43人（男26人、女17人）で、前年度より33人増加した。

## 5. 中等教育学校

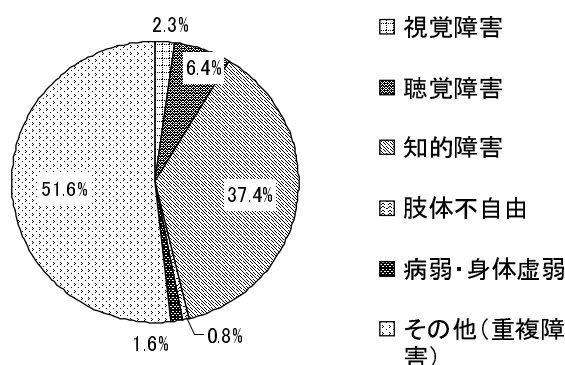
中等教育学校は、中等普通教育並びに高等普通教育及び専門教育を一貫して施すことを目的とする中高一貫校であり、平成11年度より設置が認められている。奈良県では、平成12年度に初めて設置された。

- 学校数は2校（国立1校、私立1校）で、前年度と変わらなかった。
- 学級数は前期課程で17学級（単式学級17学級）で、前年度より1学級増加した。
- 生徒数は前期課程640人（男319人、女321人）、後期課程528人（男262人、女266人）であった。
- 教員数（本務者）は78人（男49人、女29人）で、前年度より5人増加した。  
教員のうち、女性教員の占める割合は37.2%で、前年度より2.5ポイント減少した。  
教員1人あたりの生徒数は15.0人（全国値13.0人）で、前年度より0.1人減少した。

## 6. 特別支援学校

- 学校数は12校で、前年度と変わらなかった。
- 学級数は399学級で、前年度より20学級増加した。
- 在学者数は1,322人（男865人、女457人）で、前年度より88人増加した。
- 教員数（本務者）は835人（男323人、女512人）で、前年度より52人増加した。
- 障害種類別在学者数は、その他（重複障害）が682人（構成比率51.6%）と最も多く、知的障害が494人（同37.4%）、聴覚障害が84人（同6.4%）、視覚障害が31人（同2.3%）、病弱・身体虚弱が21人（同1.6%）、肢体不自由が10人（同0.8%）であった。（図12）
  - ※ その他（重複障害）とは、視覚障害、聴覚障害、知的障害、病弱・身体虚弱、肢体不自由の各障害のうち2つ以上の障害を有する者を言う。
  - ※ 学校教育法の改正に伴い、平成19年4月1日から盲・聾・養護学校が「特別支援学校」となった。

図12. 特別支援学校における障害種類別在学者割合



## 7. 専修学校

- 学校数は42校（公立4校、私立38校）で、前年度と変わらなかった。  
類型別にみると、高等課程を置く学校は10校、専門課程を置く学校は36校であった。
- 生徒数は3,301人（男1,040人、女2,261人）で、前年度より81人減少した。
- 生徒数を課程別にみると、高等課程は625人（構成比18.9%）、専門課程は2,519人（同76.3%）、一般課程は157人（同4.8%）あった。
- 生徒数を分野別にみると、医療関係の1,917人（構成比58.1%）が最多で、次いで服飾・家政関係の420人（同12.7%）、文化・教養関係の351人（同10.6%）、教育・社会福祉関係の183人（同5.5%）の順となっている。（図13） また、10年前（平成11年度）との比較では医療関係の比率が増加（11年37.5%→58.1%）した一方で、服飾・家政は減少（11年24.9%→12.7%）した。（図14）  
全国との比較では、奈良は医療関係の比率が高い（全国33.0%に対し奈良58.1%）一方で、文化・教養の比率は低くなっていた。（全国22.5%に対し、奈良10.6%）（図15）
- 教員数（本務者）は304人で、前年度より9人増加した。
- 平成21年春期の入学者数は1,308人（男381人、女927人）で、前年度より20人減少した。（表10）
- 平成20年度間の卒業生数は1,222人（男380人、女842人）で、平成19年度間より152人減少した。



表 10. 専修学校 入学状況

区分	入学定員				入学志願者				入学者数			
	計	高等課程	専門課程	一般課程	計	高等課程	専門課程	一般課程	計	高等課程	専門課程	一般課程
	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)	(人)
平成11年度	4,327	935	2,672	720	4,460	1,036	3,316	108	2,184	493	1,583	108
平成16年度	4,004	740	2,544	720	3,531	618	2,786	127	1,710	344	1,241	125
平成17年度	4,034	740	2,574	720	3,388	537	2,706	145	1,708	308	1,255	145
平成18年度	4,044	740	2,564	740	2,742	438	2,185	119	1,521	256	1,146	119
平成19年度	3,886	660	2,506	720	2,545	415	1,988	142	1,441	228	1,071	142
平成20年度	3,719	700	2,299	720	2,143	397	1,637	109	1,328	235	984	109
平成21年度	3,714	580	2,414	720	2,286	410	1,821	55	1,308	243	1,010	55

図 13. 専修学校 分野別生徒割合 (%)

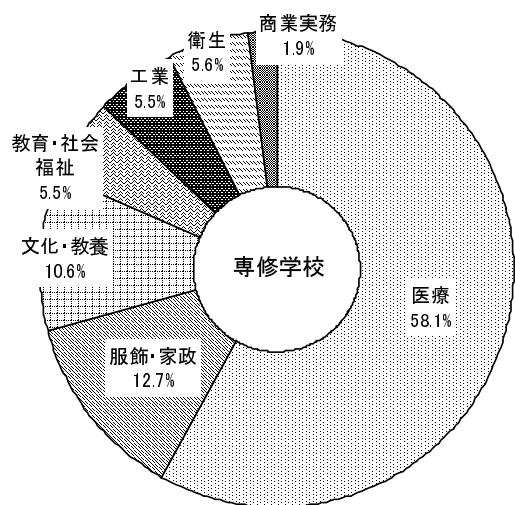


図 14. 専修学校 分野別生徒数の変化

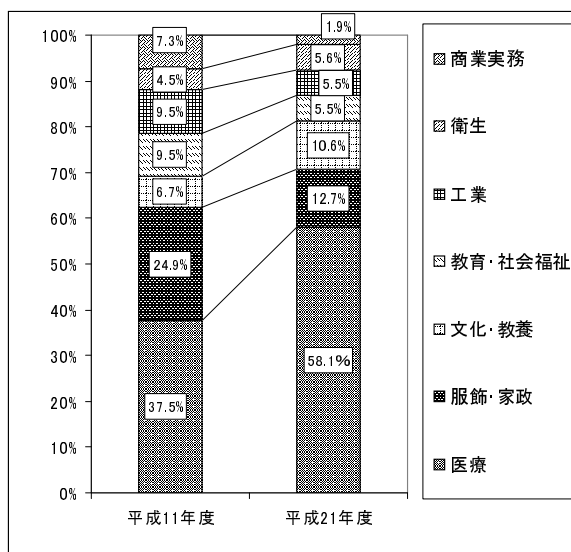
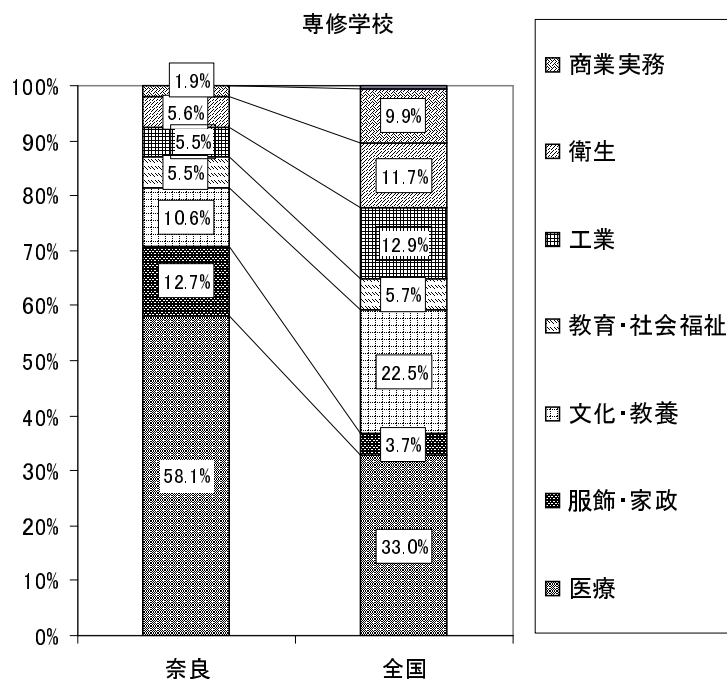


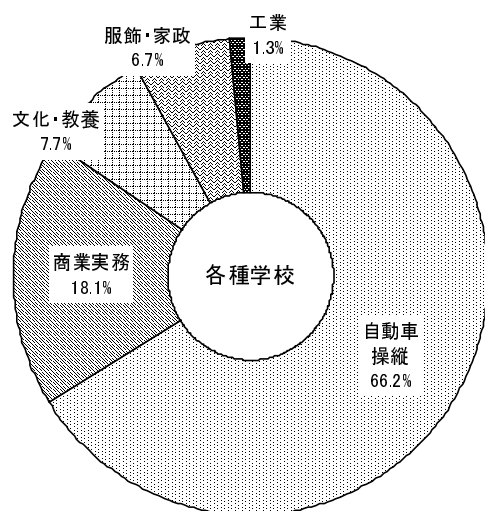
図 15. 専修学校 分野別生徒割合 (奈良県と全国の比較)



## 8. 各種学校

- 学校数は38校（私立38校）で、前年度より2校減少した。
- 生徒数は3,755人（男1,726人、女2,029人）で、前年度より199人減少した。
- 就業年限別にみると、1年未満の課程は2,911人（構成比77.5%）で、1年以上の課程は844人（同22.5%）であった。
- 分野別にみると、自動車操縦関係等の2,485人（構成比66.2%）が最多で、次いで商業実務関係の681人（同18.1%）、文化・教養関係の290人（同7.7%）の順となっている。（図16）
- 教員数（本務者）は259人で、前年度より9人減少した。
- 平成20年度間の卒業生数は7,790人（男4,033人、女3,757人）で、平成19年度間より478人減少した。

図16. 各種学校 分野別生徒割合 (%)



## [2] 卒業後の状況調査

### 1. 中学校

- 平成21年3月の卒業者は13,742人（男7,147人、女6,595人）で、前年より272人減少した。
- 高等学校等進学者は13,520人（男7,030人、女6,490人）であった。  
高等学校等進学率は98.4%（男98.4%、女98.4%）であり、前年より0.3ポイント上昇した。  
全国平均97.9%、奈良県は全国第18位であった。（前年は23位。）（表11、図17、図18）
- 専修学校（高等課程）進学者は78人（男47人、女31人）で、前年より6人減少した。  
専修学校（一般課程）等入学者は21人（男11人、女10人）で、前年より6人減少した。
- 公共職業能力開発施設等入学者は0人で、前年より4人減少した。
- 就職者総数は36人（男21人、女15人）で、前年より24人減少した。  
就職率は0.3%（男0.3%、女0.2%）で、前年より0.1ポイント低下した。（表11）

表 11. 高等学校等進学率・就職率 (%)

区分	高等学校等進学率 (%)		就職率 (%)		
	(奈良県)	(全国)	(奈良県)	(全国)	
平成11年3月	97.5	96.9	0.8	1.1	
平成16年3月	97.3	97.5	0.7	0.7	
平成17年3月	97.5	97.6	0.6	0.7	
平成18年3月	97.8	97.7	0.5	0.7	
平成19年3月	97.7	97.7	0.5	0.7	
平成20年3月	98.1	97.8	0.4	0.7	
平成21年 3月	計	98.4	97.9	0.3	0.5
	男	98.4	97.7	0.3	0.7
	女	98.4	98.2	0.2	0.3

図 17. 中学校卒業者の高等学校等進学率・就職率の推移

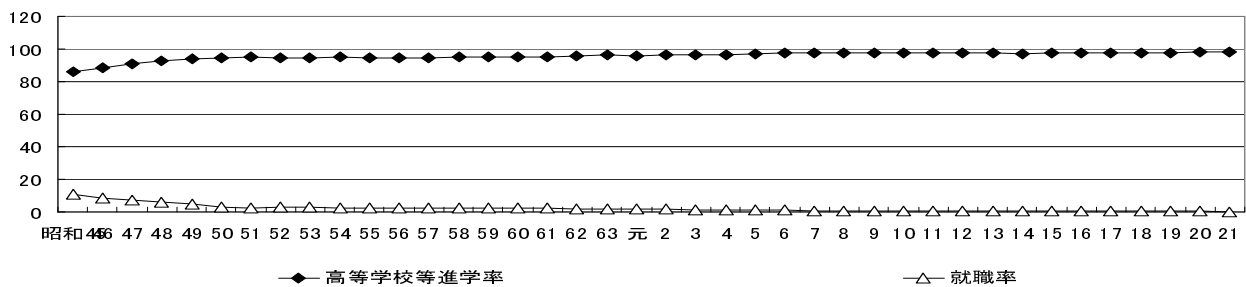
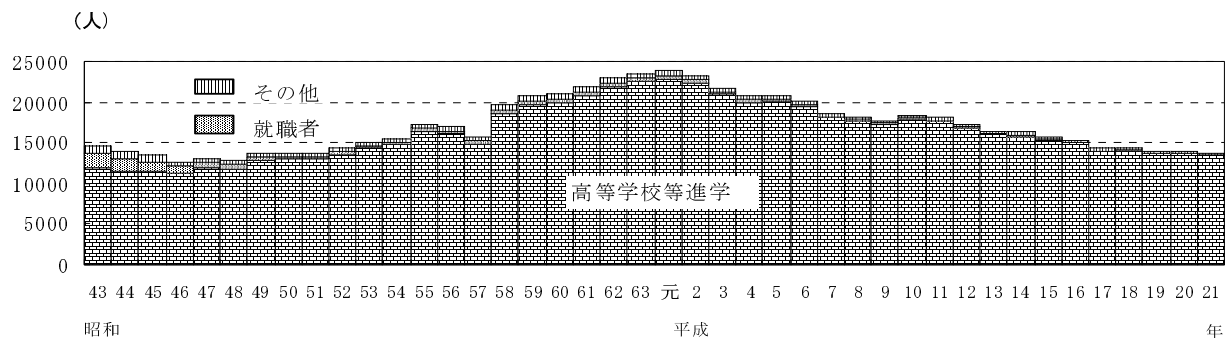


図 18. 中学校卒業者の進路の推移



その他：専修学校（高等課程・一般課程）等進学入学者、公共職業能力開発施設等入学者、左記以外の者、死亡・不詳

## 2. 高等学校

- 平成21年3月の卒業者は12,123人（男6,175人、女5,948人）で、前年より55人増加した。
- 大学等進学者は7,125人（男3,477人、女3,648人）であった。
- 大学等進学者のうち、大学（学部）への進学者は6,164人（男3,414人、女2,750人）で、前年より197人増加した。短期大学（本科）への進学者は915人（男58人、女857人）で、前年より6人減少した。その他の進学者は46人（男5人、女41人）で、前年より9人減少した。（表12、図20）

表12. 大学等進学者数

区分	計			大学（学部）			短期大学（本科）			その他		
	計 （人）	男 （人）	女 （人）	計 （人）	男 （人）	女 （人）	計 （人）	男 （人）	女 （人）	計 （人）	男 （人）	女 （人）
平成11年3月	8,151	3,630	4,521	5,860	3,519	2,341	2,283	109	2,174	8	2	6
平成16年3月	6,985	3,353	3,632	5,649	3,214	2,435	1,326	133	1,193	10	6	4
平成17年3月	7,343	3,568	3,775	5,968	3,433	2,535	1,367	130	1,237	8	5	3
平成18年3月	7,349	3,642	3,707	6,146	3,539	2,607	1,192	95	1,097	11	8	3
平成19年3月	7,261	3,543	3,718	6,141	3,454	2,687	1,060	85	975	60	4	56
平成20年3月	6,943	3,403	3,540	5,967	3,346	2,621	921	56	865	55	1	54
平成21年3月	7,125	3,477	3,648	6,164	3,414	2,750	915	58	857	46	5	41

- 学科別に大学等進学者数を見ると、普通科5,997人、農業科16人、工業科80人、商業科231人、家庭科23人、看護科47人、情報科19人、福祉科13人、総合学科16人、その他の学科683人であった。学科別の大学等進学者率は、普通科64.1%、農業科7.2%、工業科13.5%、商業科37.7%、家庭科15.8%、看護科52.8%、情報科48.7%、福祉科38.2%、総合学科26.7%、その他の学科69.3%であった。
- 大学等進学者率は58.8%で、過去最高であった前年（57.5%）より13ポイント増加し、全国平均（53.9%）に比べ高い水準にある。（表12、表13、図19、図20）  
男女別にみると、男は56.3%、女は61.3%で、前年より男は1.0ポイント、女は1.5ポイント増加した。  
大学等進学者率 男女計 全国平均 53.9% 奈良県は第9位（前年8位）  
男 " 52.3% " 第10位（前年同位）  
女 " 55.5% " 第6位（ " ）

表13. 都道府県別大学等進学者率（上位10都道府県）

順位	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
都道府県名	京都	東京	広島	神奈川	兵庫	山梨	滋賀	愛知	奈良	大阪
進学者率(%)	65.8	65.0	61.6	61.2	60.3	59.6	59.2	59.1	58.8	58.2

表14. 大学等進学者率・就職率（%）

区分	大学等進学者率（%）		就職率（%）	
	（奈良県）	（全国）	（奈良県）	（全国）
平成11年3月	54.0	44.2	13.5	20.2
平成16年3月	51.3	45.3	10.3	16.9
平成17年3月	54.1	47.3	10.5	17.4
平成18年3月	56.0	49.3	11.1	18.0
平成19年3月	55.9	51.2	11.8	18.5
平成20年3月	57.5	52.8	12.5	19.0
平成21年 3月	計	58.8	53.9	12.0
	男	56.3	52.3	13.8
	女	61.3	55.5	10.0

- 専修学校（専門課程）進学者は1,428人（男494人、女934人）で、前年より79人増加した。

専修学校（一般課程）等入学者は1,359人（男984人、女375人）で、前年より343人増加した。

- ・公共職業能力開発施設等入学者は8人（男5人、女3人）で、前年より7人減少した。

図 19. 高等学校卒業者の大学等進学率・就職率の推移

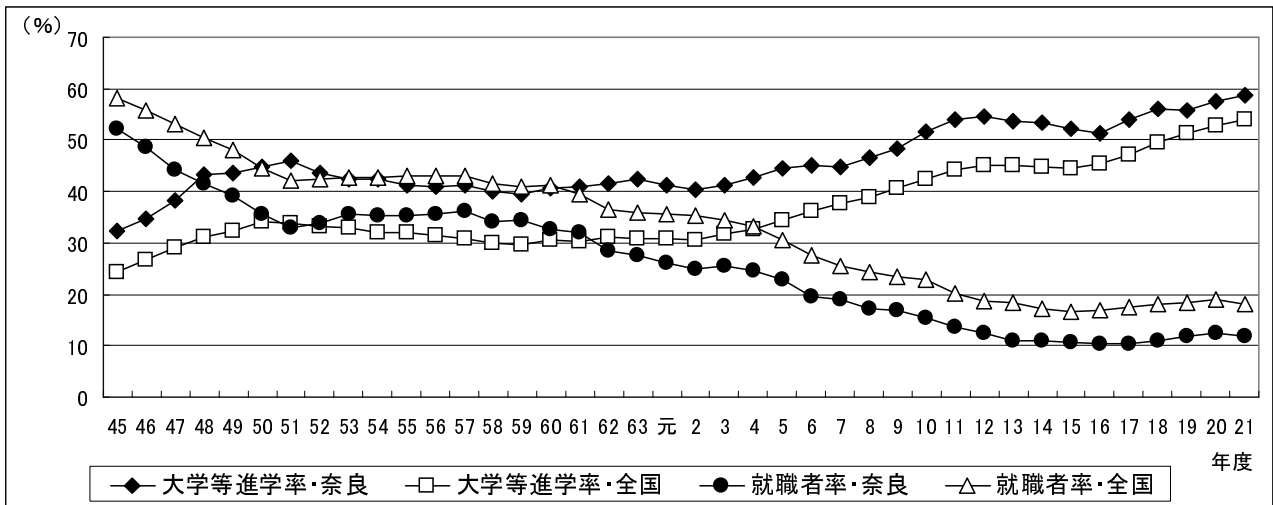
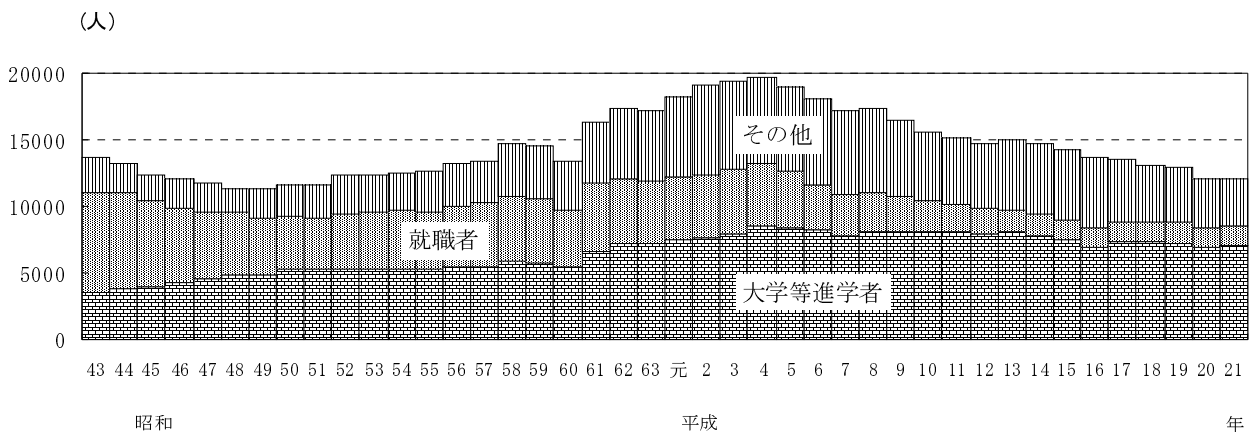


図 20. 高等学校卒業者の進路の推移



※その他：専修学校（専門課程・一般課程）等進学入学者、公共職業能力開発施設等入学者、左記以外の者、死亡・不詳

- ・就職者総数は1,449人（男855人、女594人）で、前年より65人減少した。
- ・就職者を産業別にみると、製造業が619人（構成比42.7%）で最も多く、次いで卸売業・小売業153人（同10.6%）、医療・福祉113人（同7.8%）、宿泊・飲食サービス業85人（同5.9%）の順となっている。（表15）また、全国と比較すると、製造業の構成比がやや少ない（奈良42.7%、全国44.1%）一方、医療福祉関係が多くなっている。（奈良7.8%、全国6%）（図22）
- ・県内で就職した者の比率は、全体では64.5%であり、前年より1.8ポイント減少した。（全国平均78.1%、全国では第36位（前年同位））また、県内就職者比率は産業種別によって大きく異なり、医療・福祉関係では86.7%、生活関連サービス・娯楽業で81.2%と高く、その一方で運輸・郵便業では、21.8%と低くなっている。（図21）
- ・就職率は12.0%（男13.8%、女10.0%）で、前年より0.5ポイント減少した。（表14、図19、図20）
- ・都道府県別就職率は、青森県32.2%、佐賀県32.0%、長崎県31.4%の順に高く、また、東京都6.8%、神奈川県9.3%、京都府9.8%の順に低く、奈良県はそれに続く44位（前年同位）であった。

表 15. 産業別就職者数

区分		就職者総数		
		計	男	女
第一次産業	農業、林業	2	2	0
	漁業	0	0	0
	小計	2	2	0
第二次産業	鉱業、採石業、砂利採取業	1	0	1
	建設業	74	66	8
	製造業	619	455	164
	小計	694	521	173
第三次産業	電気・ガス・熱供給・水道業	21	20	1
	情報通信業	17	9	8
	運輸業・郵便業	78	59	19
	卸売業・小売業	153	46	107
	金融業・保険業	4	0	4
	不動産業、物品賃貸業	8	5	3
	学術研究・専門・技術サービス業	7	5	2
	宿泊業、飲食サービス業	85	28	57
	生活関連サービス業、娯楽業	69	23	46
	教育、学習支援業	2	1	1
	医療、福祉	113	20	93
	複合サービス業	34	8	26
	サービス業（他に分類されないもの）	50	30	20
	公務（他に分類されるものを除く）	72	54	18
小計	713	308	405	
上記以外のもの		40	24	16
総計		1,449	855	594

図 21 産業別県内就職者の割合（高等学校卒業者）

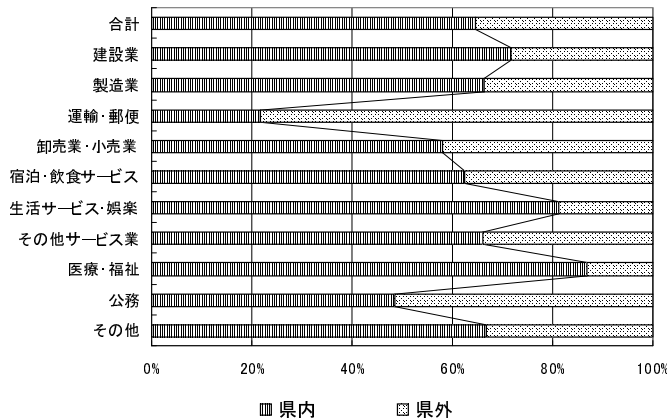
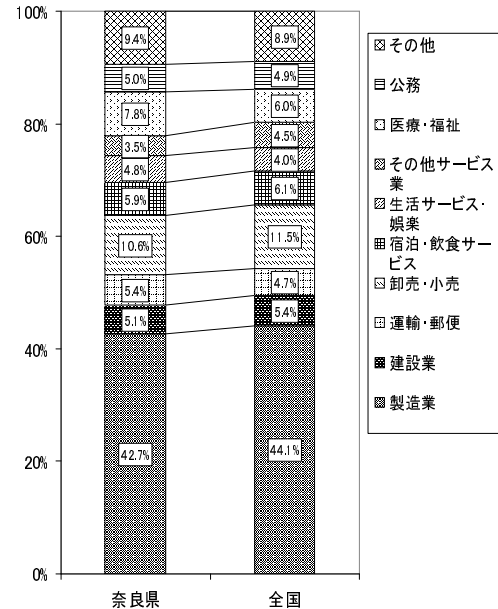


図 22 産業別就職者割合（奈良と全国との比較）



※図 21～22 における職業産業別区分の「その他」

：表 15 の区分のうち

農林業、鉱業・採石・砂利採取業、電気・ガス・水道業、情報通信業、金融・保険業、不動産・物品賃貸業、学術研究・技術サービス業、教育・学習支援業、複合サービス業および上記以外のものの合計

### 3. 特別支援学校

\* 学校教育法の改正に伴い、平成19年4月1日から盲・聾・養護学校が「特別支援学校」となった。

#### A. 中学部

- 平成21年3月の卒業者は、84人であった。(前年は合計70人)
- 高等学校等進学者は、84人であった。(前年は合計70人)
- 高等学校等進学率は、100%であった。(前年100%)

#### B. 高等部

- 平成21年3月の卒業者は、175人であった。(前年は合計157人)
- 大学等進学者は、3人であった。(前年は合計6人)
- 大学等進学率は、1.7%であった。
- 就職者総数は、54人であった。(前年は合計46人)
- 就職率は、30.9%であった。

### [3] 用語の説明

1. 入学志願者とは、募集に応じて願書を提出した者。ただし、同一学校で2以上の課程又は学科へ志願することが認められている場合は、実際に入学した課程又は学科に計上し、いずれの課程又は学科にも入学しなかった場合は、第一志望の課程又は学科に計上した。
2. 高等学校等進学者とは、高等学校の本科（全日制・定時制・通信制）及び別科、中等教育学校後期課程の本科及び別科、高等専門学校、特別支援学校高等部の本科及び別科へ進学した者、及び進学し、かつ就職した者。
3. 大学等進学者とは、大学（学部）、短期大学（本科）、大学・短期大学の通信教育部及び放送大学、大学、大学・短期大学（別科）、高等学校（専攻科）、特別支援学校高等部（専攻科）へ進学した者、及び進学し、かつ就職した者。
4. 高等学校進学率・大学等進学率

$$\text{高等学校(または大学)等進学率} = \frac{\text{高等学校(または大学)等進学者数}}{\text{卒業生数}} \times 100(\%)$$

5. 就職者総数とは、就職者数に高等学校（または大学）等進学者、専修学校（高等課程又は専門課程）進学者、専修学校（一般課程）等入学者及び公共職業能力開発施設等入学者のうち就職している者を加えた人数。

$$\text{就職率} = \frac{\text{就職者総数}}{\text{卒業生数}} \times 100(\%)$$





## 4. 高等学校

### A. 全日制課程・定時制課程

- 学校数は53校（公立37校、私立16校）で、前年度より公立4校が減少し、私立1校が増加した。  
課程別では、全日制課程のみを置く学校が44校、定時制課程のみを置く学校が3校、全日制・定時制の両課程を併設している学校が6校であった。
- 学科数は72学科で、前年度より5学科減少した。  
分野別では、普通科41学科、農業科5学科、工業科4学科、商業科4学科、家庭科3学科、看護科1学科、情報科1学科、福祉科2学科、総合学科1学科、その他の学科10学科であった。
- 生徒数は38,016人（男19,397人、女18,619人）で、前年度より221人減少した。  
課程別生徒数は、全日制36,642人、定時制1,374人であった。全日制課程の生徒の占める割合は96.4%であり、前年度より0.2ポイント低下した。10年前（平成11年度）との比較では、全日制生徒数は19.8%減少したが、逆に定時制生徒数は14.8%増加した。（表7）
- 学科別生徒数は、普通科29,502人、農業科640人、工業科1,801人、商業科1,819人、家庭科390人、看護科285人、情報科115人、福祉科176人、総合学科235人、その他の学科3,053人であった。（表8）
- 平成20年度間の帰国生徒は20人で、平成19年度間より7人増加した。
- 外国人生徒数は86人で、前年度より23人減少した。  
全生徒のうち、外国人生徒の占める割合は0.2%で、前年度より0.1ポイント減少した。
- 教員数（本務者）は2,654人（男1,887人、女767人）で、前年度より7人増加した。  
教員のうち、女性教員の占める割合は28.9%で、前年度より0.8ポイント上昇した。  
教員1人あたりの生徒数は14.3人（全国値14.0人）で、前年度より0.1ポイント減少した。
- 入学者定員は13,473人で、前年度より172人減少した。  
入学志願者は25,191人で、前年度より294人減少した。  
入学者は12,861人で、前年度より205人減少した。（表9）

表7. 課程別生徒数

区分	全日制		定時制	
	(人)	(%)	(人)	(%)
平成11年度	45,692	(97.4)	1,197	(2.6)
平成16年度	40,448	(97.1)	1,206	(2.9)
平成17年度	38,806	(96.9)	1,256	(3.1)
平成18年度	37,812	(96.9)	1,220	(3.1)
平成19年度	36,942	(96.9)	1,195	(3.1)
平成20年度	36,948	(96.6)	1,289	(3.4)
平成21年度	36,642	(96.4)	1,374	(3.6)

図8. 本務教員1人当たりの生徒数

